

令和7年度 いわさき小学校教職員 働き方改革アクションプラン

～いきいき さわやか いわ小スタッフ～

いわさき小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

〔定量的現状〕

- ◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。」
・R7年度目標:5人(R6年度:10人)
「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。」
・R7年度目標:0人(R6年度:4人)

〔定性的現状〕

- 教職員の意識
・当校で推進する月45時間の取組が全教職員に徹底されている。
・時間外勤務している教職員が固定化している。
- 管理職のマネジメント
・新たな業務が発生した際、スクラップアンドビルドの視点を持って業務見直し等の対応を行っている。

2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

- 北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。
- 本校に勤務する先生方の教育の質の向上を図ります。

<目指す姿>

- ・ こどもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- ・ 業務改善について、教職員から積極的に提案がなされている。
- ・ 働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。
- ・ 管理職が日頃から、教職員に対し体調面の見取り、声かけを行っている。
- ・ 教職員が、業務(校務分掌・学級事務・授業準備等)の時間を十分に確保できている。
- ・ 教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・ 働き方改革アクションプランの具体的取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。
- ・ 通年での軽装を基本とし、動きやすい服装で業務を行います。
- ・ 年次休暇の取得、長期休業中の閉庁日の設定等、教職員が心身共に休むことのできる環境づくりをします。
- ・ 管理職が、教職員と積極的に対話し、心身の健康についての状況把握をします。
- ・ 月の途中で月の時間外在校等時間が45時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、指導助言をします。
- ・ 健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を周知・促進します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・ 管理職が、業務改善について積極的に提案します。
- ・ 統合型校務支援システム等、ICTの積極的な活用により、業務の効率化を進めます。
- ・ 職員の意識改革を目的に、月に1度、定時退庁日を設定します。
- ・ 定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定しています。(安全衛生委員会等)
- ・ 学校行事については、安易にコロナ禍前に戻すことなく、教育において真に必要な観点から見直しを進めます。
- ・ 保護者アンケート等については、紙での配付を廃止し、メールで周知し、集約します。
- ・ 会議については、内容を精選し、合理化を図ります。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ 質の高い教育活動を推進するため、郷土芸能や教育活動に係るボランティア等、地域の方の理解と協力を得て進めていきます。
- ・ 子どもたちの登下校の見守り等、スクールガードや地域の方の理解と協力を得て進めていきます。
- ・ 教職員参加の地域行事等について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・ 働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう周知します。

令和7年4月1日 いわさき小学校長 工藤 千秋

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

○ 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

〔・令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%〕

(2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

〔・令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0%〕